

多摩政策 進捗状況・課題を解説します!

CHANGE 01 活かす!多摩のポテンシャル・独自性

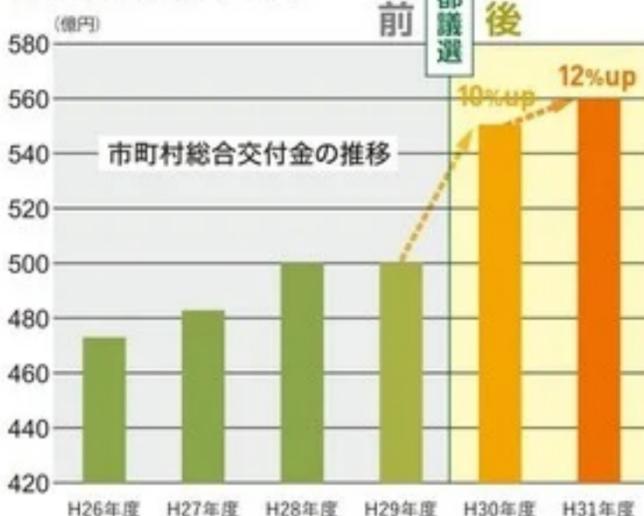
<p>人口 東京全体の約3分の1 の人口420万人</p>	<p>産業 13万の事業所、製造品 出荷額は東京全体の 6割の4.9兆円</p>	<p>BEST 10 規模 多摩地域だけで、全国 10番目程度の都道 府県の人口・経済規模</p>
<p>自然 多摩の豊かな緑や河川。世界 でも珍しい自然に恵まれた 都市東京。</p>	<p>連携 圏央道やリニア中央新幹線の開通 (2027年見込み)等、都心だけでなく、 他県との経済連携が一層進んでいる。</p>	<p>多摩</p>

都民ファーストの会 東京都議団による予算要望

多摩地域を、区部と異なる特長を持った東京の成長と魅力を牽引するもう一つのエンジンとすることを旨とした施策展開を提案。

過去最大!多摩地域への財政支援

基礎自治体の創意工夫による行政改革や政策推進を促しつつ、都と市町村で連携した戦略政策も進めます。来年度は平成29年度対比12%増額し、560億円となる見込みです。



これからの多摩地域

- 区部と成長の両輪に
- 多摩経済圏の強化
- 自然の価値をブランド化
- 教育・医療・安全の格差解消
- 多摩でもオリンピック・パラリンピック

CHANGE 02 多摩の成長戦略の充実

事業化へ前進!多摩都市モノレール延伸の財源確保を開始

多摩都市モノレールの南北延伸へ前進

多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸と町田方面への延伸を含む、鉄道新線6路線(図の赤線)を事業化の検討を深める路線に設定。



財源確保に道筋

都が47%保有する東京メトロの配当金を原資に、建設準備基金の積み立てを開始。財源確保に道筋をつけました。

事業化に向けた調査

6路線各線の事業化に向けた調査を昨年開始。国・区市町村・事業者との協議を加速します。

鉄道新線6路線	多摩都市モノレール[上北台~箱根ヶ崎]	多摩都市モノレール[多摩センター~町田]
	羽田空港アクセス線[田町駅付近等~羽田空港]	新空港線[東急蒲田~京急蒲田]
	大江戸線[光が丘~大泉学園町]	有楽町線[豊洲~住吉]

ポテンシャルを活かす成長戦略

<p>ヒトを活かす</p> <p>《移動に縛られない働き方》企業と連携して多様な働き方を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都内シェアオフィス数9割が区部に立地、多摩地域は1割 ● 多摩地域でのサテライトオフィス導入。企業・自治体を支援 ● テレワーク・時差ビズの導入企業を支援 	<p>《女性・シニア・若者の創業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資金・経営の両面から支援 ● 低利の優遇金利
<p>集積を活かす</p> <p>《創業・スタートアップ》立川に拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 丸の内線で利用が拡大しているStart up Hub Tokyoの多摩地域版を2020年に開設 ● 開業率5.4% (区部6.4%) → 10%へ 	<p>《産業交流を促進》八王子に拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都県をまたぎ、産一学一産一産の連携促進 ● MICE、国際会議等の誘致を支援
<p>自然を活かす</p> <p>《多摩産材》利活用・需要の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通学路などのブロック塀の安全対策に、多摩の木材利用を開始 	<p>《多摩観光》周遊ルートづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高尾山 祭り文化 ● 年260万人の登山者(世界一) 奥多摩・御岳山の自然体験
	<p>《中小企業のバージョンアップ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中小企業振興ビジョンを策定 ● 環境変化や事業承継に対応
	<p>《都市農業》新しい担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京農業アカデミー開設 ● 研修農場を八王子に整備 ● ICT農業の試行を支援

多摩地域での先端的な挑戦

新たなモビリティ

2月、多摩ニュータウン内で
自動運転バスの実証実験を実施

高齢化に対応し、公共交通の維持拡大が求められる多摩ニュータウンにおいて地域特性に合わせた自動運転の可能性を調査
AI技術を活用した安全対策・車内ディスプレイによる情報発信について有効性を検証

高齢化や交通不便地の足として

都営バスは、今後10年間で運転手の半数が定年退職するなど、バス業界全体で運転手の確保が困難になっています。こうした状況も受けて、自動運転バスの可能性を追求しています。



人生100年時代

今年4月から1期生を受け入れ
「100歳大学」を首都大学東京(南大沢)に開講

大学の教育資源を使い、シニアの方々が学びと交流を深める「生涯教育」を実施

50歳以上を対象に大学での1年コースの講座「Premium College」を開講

産業技術大学院大学シニアスタートアッププログラムも合わせて実施



学びの場を提供し、地域活動や就業・起業などに結びつける人生100年時代の新しい場づくりをしていきます。

安全・医療・教育の新規強化策

安全安心

役所の非常用電源72時間確保へ!補助予算化



消防団の消防装備を区部並に充実へ!補助予算化



地域や商店街の防犯カメラ充実へ!「維持費」初の予算化



医療

多摩新生児連携病院を1施設から3施設へ予算確保
多摩メディカルキャンパスの医療拠点機能の強化



教育環境

小中学校体育館に冷暖房を設置!避難所役割も考慮し予算化!



映像観戦の拠点

ライブサイト

井の頭公園に多摩地域の映像観戦拠点を設置。1日2万人規模に。更に多摩地域に追加1拠点を検討。

コミュニティライブサイト

市区町村主催の映像観戦を可能に。費用も都が支援することが決定。



まちの装飾でも盛り上げ

シティドレッシング

商店街活性化フラッグ掲揚事業を新規に予算化。大会会場から離れた街の中でも大会の雰囲気を感じられるように、フラッグ等で街の装飾をします。

近くで見られる競技

サッカー・ラグビー・バドミントン・近代五種・車いすバスケットボール

- 武蔵野の森総合スポーツプラザ ●東京スタジアム

自転車ロードレース

- 武蔵野の森公園から多摩地域8市(府中・調布・三鷹・小金井・稲城・多摩・八王子・町田)



子育ての家計負担を軽減

※都民ファーストの会 東京都議団として強く予算要望してきたもの。

保育の無償化へ都の支援策を大きく強化

世帯年収によらない無償化を実施

国の制度

実は0歳児～2歳児の大半が対象外(住民税非課税世帯のみが対象)。3歳児から5歳児は完全無償化。

都の追加支援

世帯年収によらず、第2子半額・第3子以降を無償化。二人目以降の子供がいる多子世帯の子育て家計負担を軽減します。

不妊治療の助成対象を大きく拡充

年齢・所得制限を緩和

現行

対象 35歳未満
所得制限 上限730万円

拡大

対象 40歳未満
所得制限 上限905万円

夫婦の6組に1組が不妊に悩んでいると言われます。子供をのぞむ夫婦の不妊治療を広く支えます。

